

くすり一口メモ

薬用植物と有毒植物 (2)

本誌第42巻第4号で「薬用植物と有毒植物」と題して、主な植物名・成分名・生薬名の一覧表を紹介させて頂きましたが、その中から今回は、今が季節のヒガンバナ、猛毒で知られるトリカブト・ハシリドコロについて紹介いたします。

ひがんばんな *Lycoris radiata*

| | |
|------|---|
| 分類 | ひがんばんな科、ひがんばんな属 |
| 生薬名 | 石蒜 |
| 別名 | 彼岸花、曼珠沙華、地獄華、灯籠花、御輿花、剃刀花、捨子花 |
| 主成分 | リコリン、ガラントミン、ヒドロコリン |
| 薬効 | 消炎・利尿・去痰の製薬原料 その他、鎮痛・解熱・降圧・アメーバ赤痢 膝関節の腫れに外用 |
| 中毒作用 | 嘔吐、下痢、低血圧、頻脈、神経麻痺など。死に至ることあり。致死量は不明。 |
| 備考 | 毒の成分は主に球根に含まれている。ノビルなどネギの仲間と間違いやすい。かつては飢饉の時に、この球根をすりつぶし、水や草木灰などを使ってデンプンを晒し、それを団子状にして食べたといわれるが、毒性が強いので口にしないこと！ |

とりかぶと *Aconitum japonicum* var. *montanum* (やまとりかぶと)

| | |
|-------|--|
| 分類 | きんぼうげ科、とりかぶと属 |
| 生薬名 | 烏頭、附子 |
| 主成分 | アコニチン、メスアコニチン、ジュスアコニチン |
| 薬効 | 利尿、強心、鎮静、興奮、強壮 |
| 含有漢方名 | 八味地黄丸(7)、真武湯(30)、牛車腎気丸(107)、麻黄附子細辛湯(127)、など |
| 中毒作用 | 誤食すると、嘔吐、下痢、よだれ、痙攣、手足のしびれ、呼吸麻痺、心拍衰弱などを起こして、死に至る。致死量はアコニチンの量で3～4mg、アルカロイドを0.1%含む根とすれば本植物の推定最小致死量は1gになる。 |
| 備考 | 早春の葉の形は、ヨモギやセリ、ニリンソウ、ゲンノショウコなどと似ているので注意！漢方では薬用に処方されるが、猛毒成分を含むので専門家以外の使用は厳禁！ |

はしりどころ *Scopolia japonica*

| | |
|-------|--|
| 分類 | なす科、はしりどころ属 |
| 生薬名 | ロート根 |
| 別名 | 走野老、きちがいそう、おめきぐさ、さわなす |
| 主成分 | トロパンアルカロイド(ヒヨスチアミン、アトロピン、スコポラミン) |
| 薬効 | 製剤原料：鎮痛、鎮痙、消化液分泌抑制(胃酸過多、胃十二指腸潰瘍) |
| 含有漢方名 | ロートエキスなどの製剤原料 |
| 中毒作用 | 名由来が「ところかまわず走り回る」ことから推察されるように興奮、錯乱、幻覚、痙攣、呼吸停止、昏睡をきたして死に至るといふ。その他、誤食すると、口渴、顔面蒼白、瞳孔散大、嘔吐などを起こす。 |
| 備考 | 早春に発芽する芽はフキノトウやオオバギボウシに似ているので注意！猛毒植物として有名で、危険な植物である。根茎に有毒成分が多い。根茎はロート根として製剤原料になる。致死量は100mg以上と言われ、含有量が1%とすれば、100gで危険な量となってしまう。普通、食べてから30分～2時間で中毒症状が生じる。 |

【参考文献】 奥井真司：毒草大百科，(株)データハウス，2002
 山野草カラー百科，(株)主婦の友，1990
<http://www.hanaippai.com/taberu/index-y.php>
 (鹿児島市医師会病院薬剤部 山王 伸二)